

「の」の字の世界

佐藤春夫

青空文庫

うたちゃんは、三人兄弟の末で、来年からは幼稚園ようちへ行こうというのですが、早くから、自分ではお姉ねえちゃん気どりで「えいちゃん」「えいちゃん」と、自分をよんでいます。

「えいちゃん」とは、ねえちゃんのかたことなのです。

うたちゃんは、「えいちゃん」だけに、二つ上のなき虫の兄がなくて、すぐ手ぬぐいを持つて行って、なみだをふいてやったり、頭をさすったり、まことによく気のつく、りこな子なのです。それなのに、どうしても字をおぼえません。なき虫の兄さんの方は、うたちゃんの年ごろには、だれも少しも教えないのに、野球かるたで、平がなはすっかり読み書きをおぼえ、それからは、すもうの名まえといっしよに、その本字までたくさんおぼえていたものです。兄弟でも、これほどちがうものか。うたちゃんも、今にはひとりでおぼえるだろう、といっているも、なかなかそのけぶりもありません。うたちゃんは、え本でもなんでも、あけてみてはすぐおもしろいお話をこしらえて、みなひとりで読んでしまうのです。これでは、まるで字の必要もないわけなのだ、と気がつきました。それにしても、自分の名まえぐらい書けないではようち園でもこまるだろう。

ちよつとためしに、名まえの三字だけでもおぼえさせて見よう、と「う」の字から教え

はじめたが、やっぱりだめなのです。二、三日かゝって、やっと読み方はおぼえたが、書くことはどうしてもだめなので、あきらめて「の」の字を教えはじめました。「う」の字の下を「の」のように書くのに気がついたからです。「の」の字を、^{ぎやく}逆の方向にまげたり、しつぽよんで、これを読むことはすぐおぼえましたが、書くのは、逆の方向にまげたり、しつぽの方から頭へもって行ったり、どうしてもだめでしたが、三日ほどしたら、どうやらそれらしい字ができればはじめました。書きはじめても、読み方をわすれてはいけない、と書くけいこそさせながらも、え本や学校の本などを出してきて、うちちゃんに「の」の字をさがし出させているうちに、兄さんの野球の雑誌^{ざっし}からも、お父さんの新聞のうしろからも、うちちゃんは「の」の字さえ見れば、きつとひろい出すようになり、書くこともだんだん上手になりました。

うちちゃんの世界は、今や「の」の字の世界になりました。新聞には、大きいのも小さいのや「の」の字はどつきり。うちちゃんには、新聞も「の」の字ばかりです。お兄さんのまわすコマが、「の」の字を書いているし、コマのヒモも、おえんがわで「の」の字になっています。お庭のカタツムリは「の」の字をしょって歩いているし、うちちゃんの夜具のカラクサもようも、あちらむきやこちらむきの「の」の字が一ぱいです。お兄さんの

頭の上に、だれか「の」の字を書いているというのを見ると、つむじのことなのです。お庭に「の」の字が生きて動いていた、というので、ついて行って見ると、ミミズがいたので、みんなでわらいました。

みんながわらったので、うちちゃんは、ひどくしよげてしまったので、わたしは

『ほんとうに「の」の字が生きて、ねんねしていたね』

と、うちちゃんを、なぐさめてやってからいました。

『うちちゃん、字は「の」の字のほかにもまだたくさんあるのです。うちちゃんの「う」の字でも、「た」の字でも、ね。みんなおぼえますか』

うちちゃんは、大きくうなずいた。うちちゃんは、一字おぼえて自信ができ、おもしろくなったでしょう。うちちゃんは、今に字をみなおぼえて、世界中を読むでしょう、きっと。

青空文庫情報

底本：「定本 佐藤春夫全集 第24巻」臨川書店

2000（平成12）年2月10日初版発行

底本の親本：「読売新聞 夕刊」

1953（昭和28）年10月24日発行

初出：「読売新聞 夕刊」

1953（昭和28）年10月24日発行

入力：焼野

校正：菜夏

2017年9月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

「の」の字の世界

佐藤春夫

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>